

技術の名称

コミュニケーションロボット

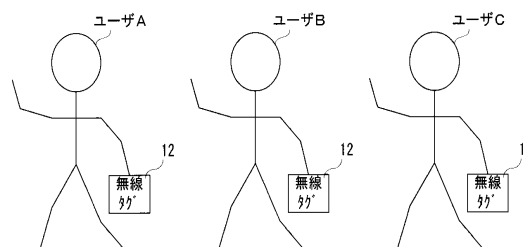
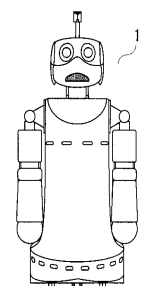
適用分野

人間と対話をするコミュニケーションロボット、博物館、美術館、イベント会場、商業施設、などでの案内ロボット

- 目的 本発明は、コミュニケーションをとる相手との親密度に応じてコミュニケーション動作に変化をもたせることができるコミュニケーションロボットを提供する。
- 効果 本発明ロボットによれば、コミュニケーション相手との親密度(たとえば、今までの接触状況、コミュニケーション相手との物理的な対話距離、など)に応じて異なったコミュニケーション動作を行うので、人間味にあふれたコミュニケーション動作をとることができる。

- 技術概要
特記事項、
図など

ロボット10の近辺でロボットとコミュニケーションをとろうとするユーザA、B、Cはそれぞれ無線タグ12を持っており、ロボット10はその無線タグ12を認識することによって、そのユーザと今までに接触経歴の有無を判定して接触したことがあれば高いユーザ親密度と判定し、またそのユーザとの距離、接触の有無、更にはユーザの表情(アイコンタクト)などからセンシング親密度を判定し、それら判定した親密度に応じたコミュニケーション動作を行う。例えば、少し離れた位置にいる初めてのユーザの場合は「始めまして、いらっしゃいませ」と懇勤な挨拶を行ない、近くにいる今まで何度も接触のあったユーザであれば、「よく来てくれたね、待ってたよ」など、親しげな挨拶を交わす。



- 主たる提供
特許

特許等の名称 : コミュニケーションロボット
登録番号
出願番号 : 特願2009-146168
公開番号 :

出願日 : 平成21年6月19日

- 実施実績

有、 ○無

- 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp